

福祉

平成 30 年度が始まり、福祉の授業もスタートしました。今年度のいなべ総合学園高等学校の福祉は、「社会福祉や介護福祉の基礎的な知識・技術を習得し、社会や地域の課題を発見し、創造的に解決できる」ことを年間目標とし、さまざまな授業を実施する予定です。

このページでは、生徒たちの生き生きとした学びの様子を紹介することを通して、いなべ総合学園高等学校の福祉の活動を知ってもらったり、福祉や介護に少しでも興味をもってもらったりする機会にすることを目的に配信していきます。

本校の福祉の授業では、理論的かつ実践的な技術を習得することを目標に、2年ほど前から、近隣の介護施設の職員の方に講師として指導をお願いしています。

今年度は、その講師陣の中に、高校で福祉を学び、その後、介護福祉士として勤められている職員の方も加わり、生徒にとっては、介護技術を学ぶだけでなく、身近な介護の先輩から、自らの将来を考える機会となることも期待できます。



第 1 回目の授業では、介護技術の基本である「ボディメカニクス」を学び、その後、実技として、ベッドで仰臥位（あおむけ）になられている利用者の方がベッド脇に端座位（座る）になるまでの介護を行いました。

三重県では 3 年前から、県内の福祉を学ぶ高校生たちが、日頃の学習の成果を発揮する「三重県高校生介護技術コンテスト」を実施しています。今年度も 7 月に実施されます。いなべ総合学園も出場する予定です。応援よろしくをお願いします！

